

韓国の高齢者の生活時間 —生活時間調査データの日韓比較から—

こ ばやし かず み
小 林 和 美

社会科教育講座

（平成20年9月3日 受付）

本稿は、韓国と日本の生活時間調査データの比較を通して、韓国の高齢者の生活時間配分にみられる特徴を明らかにしたものである。韓国の統計庁による生活時間調査（2004年実施）と日本の総務省統計局による社会生活基本調査（2006年実施）のデータを用いて、10歳以上（調査対象者全体）および65歳以上（高齢者）の人々の行動の種類別総平均時間について日韓比較をおこなった。その結果、韓国の高齢者は日本の高齢者に比べ、個人的ケアと家事と家族のケアに配分する時間が短く、自由時間と移動の時間が長いこと、自由時間では交際の時間が大幅に長いことなどがあきらかになった。

キーワード：韓国，高齢者，日常生活，生活時間，社会学

I 本稿の課題

本稿は、韓国と日本の生活時間調査データの比較を通して、韓国の高齢者の生活時間配分にみられる特徴を明らかにしようとするものである。筆者はこれまで、人口統計や高齢者にかんする各種の実態調査および意識調査結果、そして現地での観察やインタビュー調査で得たデータなどを用いて、韓国の高齢者の生活を描き出そうとしてきた（小林・洪2007など）。生活時間調査データは、1日24時間をどのように使用しているかを知ることのできるものであり、高齢者の日常生活を生活時間の側面から把握できるだけでなく、その国際比較も可能な資料である。韓国の高齢者の生活時間配分を日本の高齢者のものと比較することにより、その特徴を明らかにしたい。

本稿では、韓国の統計庁による生活時間調査（2004年実施）と日本の総務省統計局による社会生活基本調査（2006年実施）調査票B¹⁾に基づくデータを用いて、行動の種類別総平均時間（主行動、週全体）の日韓比較をおこなう。韓国の統計庁による生活時間調査と日本の総務省による社会生活基本調査のデータを用いて生活時間の日韓比較をおこなった研究には、金希宰による行動の種類別総平均時間と時間帯別行動者率の日韓比較がある（金希宰 2005）。日本の社会生活基本調査からは調査票Aに基づく結果が使用されており、調査票Aの行動分類を韓国の生活時間調査の行動分類に対応させてデータを組み替え、比較をおこなっている。これによると、行動の種類別総平均時間（10歳以上）にかんしては、

個人維持および交際・余暇にあてられる時間は日本のほうが長く、学習および移動の時間は韓国のほうが長いこと、平日の労働時間は日本のほうが長く、土曜日と日曜日の労働時間は韓国のほうが長いこと、家事時間は日本のほうが長く、家族のケアの時間は韓国のほうが長いこと、余暇時間においては日韓ともにマスコミの利用時間がもっとも長いことなどがあきらかになっている。しかし、金希宰による行動の種類別総平均時間の分析は、曜日別および男女別におこなわれており、年齢別の分析はおこなわれていないため、高齢者の生活時間について知ることはできない。

韓国の高齢者の生活時間については、キム・ジンウク（2006）の研究がある。これは、韓国の統計庁による生活時間調査のローデータを用いて、60歳以上の人々と学生を除く20-39歳および40-59歳の人々を比較することにより高齢者の生活時間の一般的特性を明らかにするとともに、調査曜日、農家・非農家、婚姻状態、年齢、教育水準、居住地域による高齢者の仕事・家族・余暇時間の違いを分析したものである。高齢者の生活時間の一般的特性については、韓国の高齢者は年をとることにより睡眠・健康管理などの個人維持活動が増え、退職者の割合が増えるにしたがい仕事に関連した生活時間が大きく減少するいっぽう、非常に多くの余暇時間を持っているが、余暇活動の大部分がテレビ視聴のような受動的な活動で占められており、余暇の質は他の年齢層に比べて劣悪だとしている²⁾。また、家族にかんする時間には性別により相当な差がみられ、男性高齢者は家族と関連する時間使用が他の年齢層よりも多く、女性高齢者は他の年齢層に比べ多少減少してはいるが家族に関連する労働負担が依然続いていることが指摘されている。

本稿では、65歳以上の人々を高齢者とみなし、65歳以上のデータについて行動の種類別総平均時間の日韓比較をおこない、韓国の高齢者の生活時間の特徴を明らかにする。あわせて65歳以上の人々の生活時間配分の特性を把握するため、調査対象者全体（10歳以上）のデータを比較対象として使用する。

Ⅱ 使用するデータと分析方法

本稿で分析の対象とするデータは、韓国の統計庁により2004年9月に実施された生活時間調査と日本の総務省統計局により2006年10月に実施された社会生活基本調査の結果である。

1. 韓国と日本の生活時間調査

本稿で用いる韓国側データは、韓国統計庁が2004年9月2日から13日にかけて実施した第2回生活時間調査の結果である。第1回調査は1999年9月に実施されており、5年ごとにおこなわれることになっている。12,750世帯に居住する10歳以上の世帯員約32,000人が調査対象に選定され、世帯関連項目と個人関連項目については面接調査方式で調査員が訪問して記入し、調査期間中の連続する2日間について調査対象者が日記をつけるように自身のした行動を10分単位で具体的に記入する時間日誌（アフターコード方式（After-cording））は留め置き方式で調査対象者自身が記入する。

日本側データは、総務省統計局が2006年10月14日から22日にかけて実施した社会生活基本調査の結果である。社会生活基本調査は1976年以来5年ごとにおこなわれており、2006年の調査は7回目に当たる。約8万世帯に居住する10歳以上の世帯員約20万人が調査対象に選定され、調査員が調査票の配布・回収をおこなう留め置き方式で、調査票は調査対象者

自身が記入する。生活時間の配分については調査期間中の連続する2日間について記入するが、調査票には、あらかじめ行動の種類（20分類）を設けて質問するプリコード方式（Pre-cording）の調査票Aと回答者が日記をつけるように自身のした行動を15分単位で自由に記入するアフターコード方式（After-cording）の調査票Bの2種類が用いられた³⁾。本稿では、調査票Bのデータを使用する。調査票Bはアフターコード方式であり、プリコード方式よりも分類区分が細かく設定されているので、より詳細な国際比較が可能なためである。

2. 分析方法

韓国の高齢者の生活時間配分にみられる特徴を明らかにするため、韓国と日本の生活時間調査データから、10歳以上（調査対象者全体）および65歳以上（高齢者）の年齢層について、行動の種類別総平均時間（主行動、週全体）を比較する。韓国側データとして『2004生活時間調査報告 第1巻 生活時間量編』より表「1-1. 10歳以上人口の平均時間—主行動,すべての行動」(統計庁 2005: 70-77)と「2-1. 年齢別平均時間—20歳以上, 65歳以上」(統計庁 2005: 118-125)掲載のデータを用いる。日本側データとしては平成18年社会生活基本調査「調査票Bに基づく結果」より「第1-1表 曜日, 男女, 行動の種類（小分類, 主行動）, ふだんの就業状態, 年齢別総平均時間」（週全体）に掲載されたデータを用いる。そして、「(参考)生活時間配分の各国比較」掲載の表⁴⁾を参考に大分類項目を設定し、「用語の解説（調査票B関係）」に収録された「別表3 平成18年社会生活基本調査詳細行動分類定義及び内容例示」を参照しながら、小分類レベルでの日韓の行動分類を表1に示したように対応させてデータを組み替えた⁵⁾。以下では組み替えたデータを用いて、10歳以上および65歳以上の人々の生活時間配分の日韓比較をおこない、韓国の高齢者の生活時間配分の特徴について検討する。

表1 行動分類対応表

本稿での行動分類		韓国・生活時間調査の行動分類	日本・社会生活基本調査（調査票B）の行動分類
個人的ケア	睡眠	睡眠（夜間）、昼寝・うたたね、病気による休養	睡眠、うたたね、療養
	身の回りの用事	医療サービスの利用、自家治療、個人衛生、外貌管理、理美容関連サービスの利用	受診、入浴、身の回りの用事（自分自身や家族等が行うもの、個人サービスの利用）
	食事	食事および間食	食事
仕事		雇用労働および自営業（主業、副業、仕事上の休憩、仕事関連の研修、自宅に持ち帰っての仕事、その他の仕事関連行動）、無給家族従事者の仕事（農林漁業を除く）、求職活動、仕事関連の物品購入、その他の仕事関連行動	主な仕事、主な仕事上の移動、副業、副業中の移動、仕事上の休憩、求職活動
学習		学習	学業

家事と家族のケア	家事	食事の管理	食事準備、後片付け、間食および貯蔵食品作り	食事の管理、菓子作り
		衣類の管理	洗濯、衣類の整理、アイロンかけ・縫い物・衣類の手入れ、衣類の修繕・クリーニングサービスの利用、裁縫・編み物	衣類等の手入れ、衣類等の作成
		住まいの管理	部屋・物品の整理、掃除、その他の掃除・整理、家財道具・家屋の修繕および関連サービスの利用、洗車・車両管理および関連サービスの利用、その他の家屋の管理	住まいの手入れ・整理、建築・修繕、乗り物の手入れ
		買い物	日常的買い物、ショッピング、耐久消費財の購入、通信販売の利用	買い物
		世帯管理	家計簿の整理、家庭計画（貯蓄・家族会議）、銀行・官公署関連の用事	世帯管理、公的サービスの利用、商業的サービスの利用
		自給的農業・園芸	無給家族従事者としての農林漁業の仕事、自家消費のための農林漁業の仕事	園芸（自家消費を主な目的とする米、野菜及び庭木などの栽培及びその収穫）
	家族のケア		未就学児のケア、初中高等学生のケア、配偶者のケア、父母・祖父母のケア、その他の家族のケア	乳幼児の介護・看護、乳幼児の身体の世話と監督、乳幼児と遊ぶ、子供の付き添い等、子供の教育、子供の送迎移動、乳幼児以外の家族の介護・看護、家族の身の回りの世話
自由時間	交際		家族・親戚との交際、家族・親戚以外の人々との交際、墓参り、墓の草取りなど、電話による交際（家族、友人）、インターネットを利用した交際、その他の交際関連行動	家族とのコミュニケーション、人と会って行う交際・付き合い、冠婚葬祭、電話による交際・付き合い、電子メールによる交際・付き合い、手紙等による交際・付き合い
	社会参加・ボランティア活動	社会参加活動	参与活動	社会参加活動
		ボランティア活動	近隣および親しい人への援助、ボランティア活動	ボランティア活動
	宗教活動		個人的宗教活動、宗教集会への参加、その他の宗教関連行動	礼拝・読経
	学習		一般人の学習	学習・研究（学業以外）
	メディア利用	テレビ	テレビ	テレビ
		新聞・雑誌	新聞、雑誌	新聞・雑誌
		その他	ビデオ・DVD、ラジオ、CD・カセットテープ	ビデオ・DVD、ラジオ、CD・カセットテープ
	教養・娯楽		映画、演劇・コンサート、展示会・博物館、スポーツ競技観覧、その他の観覧および文化行事参与関連行動	教養・娯楽（映画館、美術館、観劇、ライブの音楽鑑賞、図書館利用、スポーツ観戦、観光地見物）
	スポーツ・野外レジャー活動	スポーツ	ウォーキング・散歩、登山・ハイキング、体力鍛錬のための個人運動、その他のスポーツ	エアロビクス系スポーツ、球技、ウォーター系スポーツ、成果物を得るスポーツ、他に分類されないスポーツ、犬の散歩等
		野外レジャー活動	ドライブ、遠足、観光・見物、その他の野外でのレジャー活動	ドライブ、成果物を得る趣味・娯楽

	趣味・余暇活動	読書、インターネット情報検索、コンピュータゲーム、遊び・ギャンブル、その他の趣味活動、遊興（飲酒、踊り）	読書、創作、趣味としての菓子作り、趣味としての園芸、ペットの世話、趣味としての衣類等の作製、趣味、ゲーム、他に分類されない趣味・娯楽
	休養・くつろぎ	喫煙、何もしないで休む	休養・くつろぎ
	その他	交際および余暇活動関連物品購入、その他の余暇関連活動	該当なし
移動	通勤	通勤	通勤
	その他	移動のための待機時間、個人維持関連移動、通勤以外の仕事関連移動、通学および学習関連移動、家庭管理関連移動、家族のケア関連移動、参与およびボランティア活動関連移動、交際および余暇活動関連移動、その他の移動	通学、家事関連に伴う移動、ボランティア活動に伴う移動、家事的趣味に伴う移動、その他の移動
その他		生活時間調査調査票の記入、その他	社会生活基本調査に関連する行動、他に分類されない行動

Ⅲ 生活時間データの日韓比較

1. 大分類による生活時間配分

韓国の高齢者は1日24時間をどのように使っているのだろうか。そこにはどのような特徴がみられるだろうか。まず、行動の種類を大きく7つに分類して、生活時間の配分をみよう。

表2は、韓国と日本の65歳以上（高齢者）および10歳以上（調査対象者全体）の人々について行動の種類別総平均時間（主行動、週全体）を示したものである。韓国の65歳以上の人々の行動の種類別総平均時間をみると、個人的ケアに11時間16分が配分されており、男女差はほとんどない。つぎに多いのは自由時間で7時間5分であるが、男性が女性よりも1時間1分長い。家事と家族のケアには2時間49分配分されているが、女性のほうが2時間34分長くなっており、男女差が大きい。いっぽう仕事には1時間23分配分されており、女性のほうが1時間14分長くなっている。移動時間は1時間11分で、男性が19分長い。

韓国の10歳以上の人々のデータと比較してみると、65歳以上の人々は自由時間、家事と家族のケア、個人的ケアに配分する時間が長く（自由時間+2時間4分、家事と家族のケア

表2 行動の種類別総平均時間（主行動、週全体） (時間:分)

	韓 国						日 本					
	65 歳以上			10 歳以上			65 歳以上			10 歳以上		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
個人的ケア	11:16	11:16	11:15	10:34	10:35	10:34	12:15	12:18	12:13	11:03	10:57	11:08
仕事	1:23	2:08	0:54	3:18	4:17	2:22	1:19	1:56	0:52	3:50	5:07	2:38
学習	-	-	-	1:14	1:19	1:09	0:00	0:01	0:00	0:47	0:53	0:41
家事と家族のケア	2:49	1:16	3:50	2:00	0:35	3:23	3:22	1:50	4:33	2:30	0:56	3:59
自由時間	7:05	7:41	6:40	5:01	5:14	4:49	6:14	7:01	5:39	4:36	4:45	4:26
移動	1:11	1:22	1:03	1:40	1:51	1:30	0:43	0:47	0:37	1:09	1:16	1:00
その他	0:17	0:16	0:18	0:12	0:10	0:14	0:07	0:08	0:06	0:06	0:05	0:07

+49分、個人的ケア+42分)、仕事、学習、移動に配分する時間が短い(仕事-1時間55分、学習-1時間14分、移動-29分)。この傾向は男女とも共通しているが、男性のほうが差が大きい。自由時間は2時間27分長く、仕事は2時間9分、学習は1時間19分短い。家事と家族のケアに配分される時間も41分長くなっている。

つぎに、日本の65歳以上の人々のデータと比較してみよう。韓国の65歳以上の人々は日本の65歳以上の人々に比べ、個人的ケアと家事と家族のケアに配分される時間が短く(個人的ケア-59分、家事と家族のケア-33分)、自由時間と移動時間が長い(自由時間+51分、移動+28分)。仕事と学習の時間については、あまり差がみられない。この傾向は男女とも共通しているが、自由時間については、男性+40分、女性+1時間1分と、女性のほうが差が大きくなっている。10歳以上のデータにおいても、日本の人々よりも個人的ケアと家事と家族のケアに配分される時間が短く(個人的ケア-29分、家事と家族のケア-30分)、自由時間と移動時間が長い(自由時間+25分、移動+31分)という特徴は共通している。

65歳以上の人々の生活時間配分において、男性のほうが仕事、自由時間、移動の時間が長く、女性のほうが家事と家族のケアが長い傾向は、日韓とも共通している。ただし、自由時間の男女差は日本のほうが大きい(韓国61分、日本82分)。

10歳以上の人々のデータと比較したとき、65歳以上の人々の自由時間、家事と家族のケア、個人的ケアに配分される時間が長く、仕事、学習、移動に配分される時間が短いという傾向は、日韓とも共通している。ただし自由時間と学習については韓国のほうが差が大きく(自由時間：韓国+2時間4分、日本+1時間38分、学習：韓国-1時間14分、日本47分)、仕事と個人的ケアについては日本のほうが差が大きい(仕事：日本-2時間31分、韓国-1時間55分、個人的ケア：日本+1時間12分、韓国+42分)。

2. 個人的ケア

つぎに、さきに示した行動の種類(大分類)のうち、さらに細かい分類での比較が可能な「個人的ケア」、「家事と家族のケア」、「自由時間」、「移動」について、個々に検討していく。

個人的ケアは、生理的に必要な活動および身体のケアおよび食事に関する行動である。個人的ケアにかんする行動の種類別総平均時間は、表3のとおりである。韓国の65歳以上の人々が個人的ケアに配分する総平均時間は11時間16分であり、男女差はほとんどない。内訳をみると、睡眠8時間29分、身の回りの用事1時間9分、食事1時間38分となっている。睡眠時間は女性が若干長く(+8分)、食事時間は男性が若干長い(+7分)。

10歳以上の人々のデータと比較すると、個人的ケアに要する時間は全体で42分長くなっている。睡眠時間は大幅に長い(+38分)が、身の回りの用事と食事の時間はほとんどかわらない(身の回りの用事+2分、食事+1分)。この傾向は男女とも共通しているが、睡眠

表3 個人的ケアにかんする行動の種類別総平均時間(主行動、週全体)(時間:分)

	韓 国						日 本					
	65 歳以上			10 歳以上			65 歳以上			10 歳以上		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
個人的ケア(計)	11:16	11:16	11:15	10:34	10:35	10:34	12:15	12:18	12:13	11:03	10:57	11:08
睡眠	8:29	8:24	8:32	7:51	7:54	7:49	8:48	8:54	8:44	7:58	8:03	7:54
身の回りの用事	1:09	1:09	1:10	1:07	1:02	1:10	1:12	1:06	1:16	1:08	0:59	1:16
食事	1:38	1:42	1:35	1:37	1:39	1:35	2:15	2:18	2:13	1:57	1:55	1:59

表4 家事と家族のケアにかんする行動の種類別総平均時間（主行動、週全体）（時間:分）

	韓 国						日 本					
	65 歳以上			10 歳以上			65 歳以上			10 歳以上		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
家事と家族のケア(計)	2:49	1:16	3:50	2:00	0:35	3:23	3:22	1:50	4:33	2:30	0:56	3:59
家事(小計)	2:35	1:04	3:35	1:34	0:25	2:41	3:14	1:44	4:22	2:12	0:49	3:30
食事の管理	1:06	0:14	1:40	0:43	0:06	1:19	1:12	0:20	1:52	0:52	0:09	1:32
衣類の管理	0:16	0:02	0:25	0:11	0:01	0:21	0:26	0:05	0:42	0:18	0:02	0:33
住まいの管理	0:35	0:25	0:42	0:22	0:10	0:33	0:39	0:25	0:49	0:26	0:11	0:40
買い物	0:07	0:04	0:09	0:09	0:04	0:13	0:23	0:17	0:28	0:24	0:15	0:32
世帯管理	0:01	0:02	0:01	0:02	0:01	0:02	0:04	0:04	0:03	0:02	0:02	0:03
自給的農業・園芸	0:30	0:17	0:38	0:08	0:03	0:12	0:30	0:32	0:29	0:10	0:09	0:10
家族のケア	0:14	0:12	0:15	0:26	0:10	0:42	0:09	0:06	0:11	0:18	0:07	0:28

時間の差は女性のほうが大きく（女性+43分，男性+30分），身の回りの用事と食事の時間は男性に若干の差がみられるいっぽう，女性に差はみられない。

日本の65歳以上の人々のデータと比較すると，個人的ケアに要する時間は全体で59分短い。食事の時間が37分，睡眠時間が19分，身の回りの用事の時間が3分短くなっている。食事の時間の差が大きいことは男女とも共通しているが（男性-36分，女性-38分），睡眠時間の差は男性のほうが大きく（男性-30分，女性-12分），身の回りの用事の時間は女性が日本より6分短いのにたいし男性は3分長くなっている。10歳以上のデータにおいても，個人的ケア全体に配分される時間が日本よりも短く（-29分），内訳では食事の時間の差が-20分と最も大きく，ついで睡眠時間の-7分で，身の回りの用事の時間はほとんどかわらない（-1分）という特徴は共通している。

65歳以上の人々の総平均時間について，女性より男性のほうが食事時間が長い点は日韓で共通しているが（韓国+7分，日本+5分），身の回りの用事の時間は韓国ではほとんど男女差がみられないのにたいし日本では女性のほうが10分長く，睡眠時間は韓国では女性のほうが8分長いのにたいし日本では男性のほうが10分長い。

10歳以上の人々のデータと比較したとき，65歳以上の人々の睡眠時間が長い点は日韓とも共通しているが，日本のほうが差が大きくなっている（韓国+38分，日本+50分）。身の回りの用事の時間が，男性については65歳以上の人々のほうが長い，女性についてはかわらない点も共通している。ただし，食事の時間は，韓国ではほとんど差がないのにたいし，日本では65歳以上のほうが男性で23分，女性で14分長くなっている。

3. 家事と家族のケア

家事と家族のケアにかんする行動の種類別総平均時間は，表4のとおりである。韓国の65歳以上の人々が家事と家族のケアに配分する総平均時間は男性1時間16分，女性3時間50分と男女差が大きい。男性は家事に1時間4分，家族のケアに12分を配分しているが，家事のなかでも住まいの管理（25分）⁶⁾，自給的農業・園芸（17分），食事の管理（14分）に比較的多くの時間を配分している⁷⁾。女性は家事に3時間35分，家族のケアに15分を配分しており，家事のなかでは食事の管理に配分される時間がもっとも長く（1時間40分），ついで住まいの管理（42分），自給的農業・園芸（38分），衣類の管理（25分）となっている⁸⁾。ほとんどの項目で女性が配分する時間のほうが長くなっているが（食事の管理+1時間26

分、衣類の管理+23分、住まいの管理+17分、自給的農業・園芸+21分)、買い物、世帯管理、家族のケアに配分される時間は男女差が小さい。

10歳以上の人々のデータと比較すると、家事と家族のケアに配分される時間は男性で41分、女性で27分長くなっている。男性は、住まいの管理(+15分)、自給的農業・園芸(+14分)、食事の管理(+8分)の時間が長くなっており、その他の項目はほとんどかわらない。いっぽう女性は、自給的農業・園芸(+26分)と食事の管理(+21分)に配分される時間が大幅に長くなり、家族のケアに配分される時間が短くなっている(-27分)。家族のケアの時間が短いのは、未就学児の世話、初・中・高等学生の世話に配分される時間が短いためである。

日本の65歳以上の人々のデータと比較すると、家事と家族のケアに配分される時間は男性で34分、女性で43分短い。家事の時間は男女とも日本より大幅に短い(男性40分、女性47分)、家族のケアの時間は日本より若干長くなっている(男性+6分、女性+4分)。家事に配分される時間は日本より大幅に短い(男性-15分、女性-19分)が家族のケアに配分される時間は若干長いという特徴は、10歳以上のデータにも共通してみられる。家事についてさらに細かい内訳をみると、男性では自給的農業(-15分)、買い物(-13分)、食事の管理(-6分)などの時間が短くなっている。女性では買い物(-19分)、衣類の管理(-17分)、食事の管理(-12分)、住まいの管理(-7分)などの時間が短く、自給的農業・園芸の時間(+9分)が長くなっている。

65歳以上の人々の家事と家族のケアにかんする行動の総平均時間において、家事時間の大部分を占める食事の管理、衣類の管理、住まいの管理、買い物について女性の配分時間が男性よりも大幅に長いこと、世帯管理の時間に男女差がほとんどみられないこと、家族のケアに配分される時間は女性が若干長いことは、日韓に共通してみられる傾向である。しかし、自給的農業・園芸に配分される時間については、韓国で女性のほうが21分長いのにたいし、日本では男性のほうが若干(+3分)長くなっている。

10歳以上の人々のデータと比較したとき、65歳以上の人々の家事と家族のケアの時間配分にみられる特徴は、日韓でほぼ共通している。ただし、自給的農業・園芸に配分される時間については、65歳以上の人々のほうが長い点では共通しているが、韓国では女性のほうが差が大きく(男性+14分、女性+26分)、日本では男性のほうに差が大きくなっている(男性+23分、女性+19分)。

4. 自由時間

自由時間にかんするデータは、韓国の高齢者の日常的活動を知ることのできる興味深いデータである。自由時間にかんする行動の種類別総平均時間は、表5のとおりである。韓国の65歳以上の人々が自由時間に配分する総平均時間は7時間5分であり、男性7時間41分、女性6時間40分と男性のほうが1時間1分長い。内訳をみると、自由時間のほぼ半分にあたる3時間39分がメディア利用にあてられており、そのうち3時間28分がテレビ視聴時間である。男性で3時間48分、女性で3時間14分がテレビ視聴にあてられている。そのほかには、交際に1時間8分、休養・くつろぎに43分、スポーツ・野外レジャー活動に41分、趣味・余暇活動に27分、宗教活動に20分が配分されている。社会参加・ボランティア活動、学習、教養・娯楽に配分される時間はわずかである。男女差についてみると、メディア利用、スポーツ・野外レジャー活動、趣味・余暇活動の時間は男性のほうが長く(メディア利用+53分、スポーツ・野外レジャー活動+24分、趣味・余暇活動+21分)、宗教活動と交際の

表5 自由時間にかんする行動の種類別総平均時間（主行動、週全体）（時間:分）

	韓 国						日 本					
	65 歳以上			10 歳以上			65 歳以上			10 歳以上		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
自由時間(計)	7:05	7:41	6:40	5:01	5:14	4:49	6:14	7:01	5:39	4:36	4:45	4:26
交際	1:08	1:02	1:13	0:52	0:47	0:56	0:21	0:18	0:24	0:24	0:20	0:27
社会参加・ボランティア活動	0:04	0:03	0:04	0:03	0:04	0:03	0:07	0:10	0:05	0:05	0:05	0:05
社会参加活動	0:01	0:01	0:01	0:02	0:03	0:00	0:02	0:02	0:02	0:01	0:01	0:01
ボランティア活動	0:03	0:02	0:03	0:02	0:01	0:02	0:05	0:08	0:03	0:04	0:04	0:04
宗教活動	0:20	0:07	0:29	0:11	0:05	0:15	0:05	0:03	0:06	0:02	0:01	0:02
学習	0:01	0:02	0:01	0:09	0:10	0:08	0:04	0:03	0:05	0:05	0:04	0:06
メディア利用	3:39	4:11	3:18	2:08	2:10	2:06	4:00	4:27	3:39	2:37	2:42	2:33
テレビ	3:28	3:48	3:14	1:58	1:57	1:59	3:29	3:48	3:14	2:17	2:20	2:14
新聞・雑誌	0:06	0:15	0:01	0:06	0:08	0:04	0:25	0:33	0:18	0:13	0:15	0:11
その他	0:05	0:08	0:03	0:04	0:05	0:03	0:06	0:06	0:07	0:07	0:07	0:08
教養・娯楽	0:01	0:01	0:01	0:02	0:02	0:03	0:04	0:03	0:05	0:06	0:05	0:06
スポーツ・野外レジャー活動	0:41	0:55	0:31	0:24	0:28	0:21	0:37	0:55	0:23	0:25	0:31	0:20
スポーツ	0:38	0:52	0:28	0:22	0:25	0:20	0:35	0:51	0:22	0:23	0:29	0:18
野外レジャー活動	0:03	0:03	0:03	0:02	0:03	0:01	0:02	0:04	0:01	0:02	0:02	0:02
趣味・余暇活動	0:27	0:40	0:19	0:53	1:07	0:39	0:31	0:42	0:22	0:39	0:47	0:33
休養・くつろぎ	0:43	0:40	0:44	0:17	0:19	0:16	0:25	0:20	0:29	0:12	0:10	0:13
その他	0:01	0:02	0:01	0:02	0:01	0:03	-	-	-	-	-	-

時間は女性のほうが長い（宗教活動+22分，交際+11分）。

10歳以上の人々のデータと比較すると，自由時間に配分される時間は全体で2時間4分長い。女性よりも男性のほうが，10歳以上の人々のデータとの差が大きくなっている（男性+2時間27分，女性+1時間51分）。内訳をみると，もっとも差が大きいのはメディア利用の時間で，1時間31分長くなっているが，そのほとんどはテレビ視聴時間の差からくるものである。テレビ視聴時間の差は，女性よりも男性のほうが大きくなっている（男性+1時間51分，女性+1時間15分）。また，10歳以上の人々のデータに比べ，休養・くつろぎ（+26分），スポーツ・野外レジャー活動（+17分），交際（+16分），宗教活動（+9分）の時間が長く，趣味・余暇活動（-26分）の時間が短い。スポーツ・野外レジャー活動の時間の差は男性のほうが大きく（男性+27分，女性+10分），宗教活動の時間の差は，女性のほうが大きい（男性+2分，女性+14分）。

日本の65歳以上の人々のデータと比較すると，韓国の65歳以上の人々の自由時間は全体で51分長い。日本よりも，男性で40分，女性で1時間1分長くなっている。もっとも差が大きいのは，交際に配分される時間であり，韓国のほうが47分長い（男性+44分，女性+49分）。10歳以上のデータをみても，日本より韓国のほうが交際にあてられる時間は長い（全体+25分，男性+29分，女性+23分），その差は65歳以上のデータのほうが大きくなっている。交際時間の内訳をみると，韓国では，家族・親戚以外の人々との交際に，交際時間の大部分があてられていることがわかる（表6）。電話による交際の時間も，日本よりもずいぶん長い。インターネットや電子メールによる交際の時間は，日韓ともにきわめてわずかであ

表6 交際にかんする行動の種類別総平均時間（65歳以上、主行動、週全体）（時間：分）

韓 国				日 本			
	全体	男性	女性		全体	男性	女性
交際(計)	1:08	1:02	1:13	交際(計)	0:21	0:18	0:24
家族・親戚との交際	0:11	0:10	0:12	家族とのコミュニケーション	0:08	0:06	0:09
家族・親戚以外の人々との交際	0:47	0:41	0:52	人と会って行う交際・付き合い	0:10	0:09	0:11
墓参り、墓の草取りなど	0:03	0:05	0:01	冠婚葬祭	0:02	0:02	0:01
電話による交際(家族、友人)	0:06	0:05	0:07	電話による交際・付き合い	0:01	0:00	0:02
インターネットを利用した交際	0:00	0:00	0:00	電子メールによる交際・付き合い	0:01	0:01	0:00
その他の交際関連行動	0:00	0:01	0:00	手紙等による交際・付き合い	0:00	0:00	0:00

る。メディア利用の時間は韓国の方が21分短くなっているが、内訳に注意してみる必要がある。テレビの視聴時間は日韓でまったく同じであるが、新聞・雑誌の購読時間は韓国が19分短くなっており、メディア利用時間の差の大部分は新聞・雑誌の購読時間の差からきているといえる。休養・くつろぎの時間は、韓国が18分長くなっている。宗教活動の時間は韓国が15分長くなっているが、男性+4分、女性+23分であり、女性のほうに差が大きい⁹⁾。スポーツ・野外レジャー活動、趣味・余暇活動の時間については、日韓であまり大きな差はない。これらの内訳をみると、日韓で小分類の項目が異なっているが、スポーツ・野外レジャー活動においては日韓ともにウォーキングや散歩などが多くの時間を占めていると思われる¹⁰⁾（表7）。趣味・余暇活動においては、韓国では、遊び、ギャンブルの占める時間が大きく（男性22分、女性15分）、ついで読書（男性8分、女性2分）となっているが、日本では、半分以上の時間を占めるような項目はなく、読書、ゲーム、創作などの時間が比較的長くなっている（表8）。社会参加・ボランティア活動、学習、教養・娯楽については、日韓ともに占めている時間は少ないが、日本のほうが若干長くなっている。

65歳以上の人々の総平均時間について、メディア利用、スポーツ・野外レジャー活動、趣味・余暇活動の時間が女性より男性のほうが長い点と、交際の時間が男性より女性のほうが若干長い点は日韓で共通しているが、宗教活動の時間については、日本では韓国ほどの男女差がみられない。宗教活動の時間は、韓国では男性よりも女性が22分長いのにたいし、日本では女性のほうが3分長いに過ぎない。

10歳以上の人々のデータと比較したとき、65歳以上の人々の自由時間が長い点は日韓とも共通しているが、韓国の方が差が大きい（韓国+2時間4分、日本+1時間38分）。メディア利用、とくにテレビの視聴時間が大幅に長い点も日韓で共通しているが、韓国の方が差が大きく（韓国+1時間30分、日本+1時間12分）、また日本では新聞・雑誌の購読時間が長くなっている（韓国+0分、日本+12分）。女性よりも男性のほうが、テレビ視聴時間の差が大きい点は共通している（韓国：男性+1時間51分、女性+1時間15分、日本：男性+1時間28分、女性+1時間）。また、10歳以上の人々のデータに比べ、休養・くつろぎ（韓国+26分、日本+13分）、スポーツ・野外レジャー活動（韓国+17分、日本+12分）の時間が長い点は日韓で共通しているが、趣味・余暇活動（韓国-26分、日本-8分）、交際（韓国+16分、日本-3分）、宗教活動（韓国+9分（女性は+14分）、日本+3分）の時間については日本ではあまり差がみられなかった。65歳以上の人々に趣味・余暇活動の時間が短いこと、交際の時間が長いこと、女性の宗教活動の時間が長いことは、韓国の特徴といえるだろう。

表7 スポーツ・野外レジャー活動にかんする行動の種類別総平均時間（65歳以上、主行動、週全体）（時間：分）

韓 国				日 本			
	全体	男性	女性		全体	男性	女性
スポーツ・野外レジャー活動(計)	0:41	0:55	0:31	スポーツ・野外レジャー活動(計)	0:37	0:55	0:23
スポーツ	0:38	0:52	0:28	スポーツ	0:35	0:51	0:22
ウォーキング、散歩	0:29	0:37	0:24	エアロビクス系スポーツ	0:22	0:30	0:16
登山、ハイキング	0:03	0:07	0:01	球技	0:06	0:09	0:03
体力鍛錬のための個人運動	0:04	0:06	0:03	ウォーター系スポーツ	0:01	0:01	0:01
その他のスポーツ	0:01	0:02	0:00	成果物を得るスポーツ	0:02	0:05	0:00
				他に分類されないスポーツ	0:01	0:01	0:00
				犬の散歩等	0:04	0:06	0:02
野外レジャー活動	0:03	0:03	0:03	野外レジャー活動	0:02	0:04	0:01
ドライブ、遠足、観光・見物	0:02	0:01	0:03	ドライブ	0:02	0:03	0:01
その他の野外でのレジャー活動	0:01	0:02	0:00	成果物を得る趣味・娯楽	0:00	0:01	0:00

表8 趣味・余暇活動にかんする行動の種類別総平均時間（65歳以上、主行動、週全体）（時間：分）

韓 国				日 本			
	全体	男性	女性		全体	男性	女性
趣味・余暇活動(計)	0:27	0:40	0:19	趣味・余暇活動(計)	0:31	0:42	0:22
読書	0:04	0:08	0:02	読書	0:10	0:13	0:07
コンピュータゲーム	0:01	0:01	0:00	ゲーム	0:06	0:10	0:03
遊び、ギャンブル	0:17	0:22	0:15	創作	0:06	0:07	0:06
その他の趣味活動	0:02	0:03	0:01	趣味としての菓子作り	0:00	0:00	0:00
遊興（飲酒、踊り）	0:02	0:04	0:00	趣味としての園芸	0:02	0:03	0:01
インターネット情報検索	0:01	0:02	0:00	ペットの世話	0:01	0:02	0:01
				趣味としての衣類等の作製	0:01	0:00	0:02
				趣味	0:04	0:08	0:01
				他に分類されない趣味・娯楽	0:01	0:00	0:01

5. 移動

移動にかんする行動の種類別総平均時間は、表9のとおりである。韓国の65歳以上の人々が移動に配分する総平均時間は1時間11分であり、男性が1時間22分と女性の1時間3分よりも19分長くなっている。内訳をみると、男女とも通勤以外の移動の時間が大部分を占めている。

10歳以上の人々のデータと比較すると、移動に配分される時間は男女ともに短くなっている（男性-29分、女性-27分）。通勤に要する時間が大幅に短くなっているが、その他の移動の時間も短くなっている。

表9 移動にかんする行動の種類別総平均時間（主行動、週全体）（時間：分）

	韓 国						日 本					
	65 歳以上			10 歳以上			65 歳以上			10 歳以上		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
移動(計)	1:11	1:22	1:03	1:40	1:51	1:30	0:43	0:47	0:37	1:09	1:16	1:00
通勤	0:11	0:16	0:07	0:29	0:37	0:21	0:07	0:11	0:03	0:26	0:35	0:16
その他	1:00	1:06	0:56	1:11	1:14	1:09	0:36	0:36	0:34	0:43	0:41	0:44

表10 移動にかんする行動の種類別総平均時間（65歳以上、主行動、週全体）（時間:分）

韓 国				日 本			
	全体	男性	女性		全体	男性	女性
移動(計)	1:11	1:22	1:03	移動(計)	0:43	0:47	0:37
通勤	0:11	0:16	0:07	通勤	0:07	0:11	0:03
その他	1:00	1:06	0:56	その他	0:36	0:36	0:34
移動のための待機時間	0:02	0:02	0:02	家事関連に伴う移動	0:12	0:10	0:13
個人維持関連移動	0:10	0:10	0:11	ボランティア活動に伴う移動	0:01	0:01	0:00
通勤以外の仕事関連の移動	0:08	0:11	0:06	家事的趣味に伴う移動	0:01	0:01	0:00
家庭管理関連の移動	0:08	0:06	0:09	その他の移動	0:22	0:24	0:21
家族の世話関連の移動	0:03	0:03	0:02				
参与およびボランティア活動関連の移動	0:01	0:01	0:01				
交際活動関連の移動	0:16	0:20	0:14				
一般人の学習関連の移動	0:00	0:00	0:00				
その他の余暇活動関連の移動	0:13	0:14	0:11				

韓国の65歳以上の人々の移動に配分される時間は、日本の65歳以上の人々に比べて、大幅に長くなっている（+28分）。内訳をみると、通勤時間が4分、その他の移動時間が24分長い。日韓の移動時間の差は、女性よりも男性のほうが大きくなっている（男性+35分、女性+26分）。10歳以上のデータでも、日本よりも韓国のほうが、移動に配分される時間が大幅に長くなっており（+31分）、同様の傾向を読み取ることができる。小分類の項目が日韓で異なっているが、移動にかんするさらに細かい内訳をみると、韓国では交際活動関連の移動（16分）とその他の余暇活動関連の移動（13分）の占める時間が大きいことがわかる（表10）。自由時間が長いこと、とくに家族・親戚以外の人々との交際に配分される時間が大きいことが、韓国で移動時間が長くなっている一因と考えられる。

65歳以上の人々の総平均時間について、女性より男性のほうが移動の時間が長い点は日韓で共通しているが、韓国のほうが男女差が若干大きい（韓国：男性+19分、日本：男性+10分）。

10歳以上の人々のデータと比較したとき、65歳以上の人々の移動の時間が短い点は日韓で共通しており、韓国で29分、日本で26分短くなっている。とくに男性の通勤時間の差が大きい点も、共通している（韓国-21分、日本-24分）。

Ⅳ 結論

以上、韓国の統計庁による生活時間調査データと日本の総務省統計局による社会生活基本調査データを用いて10歳以上（調査対象者全体）および65歳以上（高齢者）の人々の行動の種類別総平均時間の日韓比較をおこなった。その結果、韓国の高齢者の生活時間配分について、つぎのような特徴が明らかになった。

韓国の高齢者は、日本の高齢者に比べ、仕事と学習の時間はほとんどかわらないが、個人的ケアと家事と家族のケアに配分する時間が短く、自由時間と移動の時間が長い。自由時間については日本の高齢者に比べて男女差が少なく、韓国の女性高齢者は日本の女性高齢者に比べて長い自由時間を確保している。

個人的ケアについては、男女ともに食事時間が大幅に短く、また男性の睡眠時間が短い。

家事と家族のケアについては、家事の時間は男女とも大幅に短い、家族のケアの時間は若干長くなっている。自由時間では、交際の時間が男女とも大幅に長く、家族・親戚以外の人々との交際に、交際時間の大部分が当てられており、電話による交際時間も日本より長い。休養・くつろぎの時間は男女とも長く、宗教活動の時間は女性で長い。自由時間のほぼ半分を占めるテレビ視聴時間は日本の高齢者とまったく同じであるが、新聞・雑誌の講読時間は短い。スポーツ・野外レジャー活動の時間はあまりかわらず、ウォーキングや散歩などが多くの時間を占めている点でも共通している。趣味・余暇活動の時間もほぼ同じだが、韓国では、遊び、ギャンブルが多くの時間を占めている。社会参加・ボランティア活動、学習、教養・娯楽が占める時間は日韓ともに少ないが、韓国のほうが若干短い。移動については、交際活動関連の移動とその他の余暇活動関連の移動の占める時間が大きくなっており、日本の高齢者に比べて自由時間が長いこと、とくに家族・親戚以外の人々との交際に配分される時間が長いことが、移動時間の長さの一因になっていると考えられる。

キム・ジンウク（2006）によって指摘された韓国の高齢者の生活時間の一般的特性は、日本の高齢者についても、ほぼ共通してみられた。調査対象者全体（10歳以上の人々）のデータと比較したとき、高齢者の生活時間には、日韓ともに、個人的ケア、家事と家族のケア、自由時間が長く、仕事、学習、移動の時間が短いという特性がみられた¹¹⁾。余暇活動のほぼ半分がテレビ視聴の時間で占められている点についても共通していた。本稿では、高齢者の生活時間を韓国と日本で比較することにより、両国の高齢者の日常生活の特徴について、新たな側面を指摘することができたといえるだろう。

[注]

- 1) 調査票Aはプリコード方式、調査票Bはアフターコード方式の調査票である。
- 2) 韓国の統計庁が1999年に実施した生活時間調査のローデータを用いて、韓国の高齢者の余暇活動時間の分析をおこなったパク・ミソクとイ・ユリも、韓国の高齢者は余暇時間をおもにテレビ視聴、日常的な交際活動、何もしないで休むなど、受動的な余暇活動で過ごしていることを指摘し、問題視している（パク・ミソクほか 2003: 44-45, 47）。
- 3) 調査票Aに係る調査区と調査票Bに係る調査区は独立に抽出されている。
- 4) 表1「男女、行動の種類別総平均時間（週全体）」など（<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?bid=000001009957&cyclo=0> [2009年8月アクセス]）。日本のデータは、調査票Bによる調査結果を小分類レベルでEU比較用に組み替えた行動分類によるものである。
- 5) 日韓の行動分類の方法および定義には相違があるため、データの対応には限界がある。
- 6) ただし、住まいの管理のうち、掃除に配分される時間は5分に過ぎず、女性の23分と大きな開きがある。
- 7) 家族のケア12分の内訳は、未就学児の世話6分、初・中・高等学生の子供の世話1分、配偶者の看護3分、看護以外のその他の家族の世話2分である。
- 8) 家族のケア15分の内訳は、未就学児の世話8分、初・中・高等学生の子供の世話2分、配偶者の看護2分、看護以外の配偶者の世話1分、看護以外のその他の家族の世話3分である。

- 9) 10歳以上のデータでも，韓国の方が宗教活動にあてられる時間が若干長い（全体+9分，男性+4分，女性+13分）。
- 10) 日本の「エアロビクス系スポーツ」には，①ウォーキングとハイキング，②ジョギングとランニング，③サイクリング，スキー，スケート，④体操，⑤器具を使った運動が含まれている（平成18年社会生活基本調査，調査の結果より「用語の解説（調査票B関係）」別表3参照）。
- 11) 家事と家族のケアについてのみキム・ジンウク（2006）の分析結果と異なっているが，これは比較の対象が異なるためである。本稿では65歳以上と10歳以上のデータを比較したのにたいし，キム・ジンウク（2006）では60歳以上と学生を除く20-39歳および40-59歳のデータを比較している。

【文献】

- 金希宰（姜文源訳），2005，「韓国と日本の生活時間比較」，『福岡大学経済学論叢』49（3・4），pp.349-364
- キム・ジンウク，2006，「韓国老人の生活時間にかんする研究」，『老人福祉研究』32，pp.149-177（韓国語）
- 小林和美，2003，「韓国における老年期ライフスタイルの変容 - プサン市およびテグ市におけるインタビュー調査から - 」，『現代韓国朝鮮研究』3，pp.2-9
- 小林和美，2005，「韓国における高齢者の暮らしと福祉サービスの利用」，『大阪教育大学紀要 第Ⅱ部門』53（2），pp.117-128
- 小林和美，洪上旭，2007，「韓国の高齢者」，落合恵美子・山根真理・宮坂靖子編，『アジアの家族とジェンダー』，勁草書房，pp.70-87
- パク・ミソク，イ・ユリ，2003，「韓国老人の余暇活動時間にかんする研究」，『韓国家庭管理学会誌』21（1），pp.37-48（韓国語）
- 総務省統計局ホームページ／社会生活基本調査，
<http://www.stat.go.jp/data/shakai/2006/index.htm>[2009年8月アクセス]
- 統計庁，2005，『2004 生活時間調査報告書 第1巻 生活時間量編』，統計庁（韓国語）

【付記】

本稿は，平成18-21年度科学研究費補助金基盤研究（C）「韓国における高齢期ライフスタイルの変容」（研究代表者：小林和美）による研究成果の一部である。

A Study on the Time Use of South Korean Elderly: Comparative Analysis of the Time Use Survey Data of South Korea and Japan

KOBAYASHI Kazumi

*Division of Social Studies Education, Osaka Kyoiku University, Kashiwara,
Osaka 582-8582, Japan*

The purpose of this study is to illustrate the feature of the time use of Korean elderly. For this purpose, I analyzed the data of average time spent on activities of all Koreans and Japanese (10 years old and above) and the elderly (65 years old and above) from the Time Use Survey executed in 2004 by National Statistical Office in South Korea and Survey on Time Use and Leisure Activities executed in 2006 by Statistics Bureau of Ministry of Internal Affairs and Communications in Japan. Major findings are as follows;

Korean elderly people spend almost as much time for their work and study as Japanese elderly people. While the time for personal care and household / family care is shorter, the time for free time and travel is longer. The difference of free time by sex is smaller than Japanese. Korean elderly women have longer free time than Japanese elderly women.

As for personal care, the meal time of Korean elderly people is much shorter than that of Japanese, and sleeping time is shorter with men. As for household / family care, time for household care is much shorter, but time for family care is a little longer than Japanese. Among free time, time for social life is much longer than Japanese, most of it spent for socializing with people other than family and relatives. The time by telephone calls for socializing is longer, too. The time for rest and relaxation is longer with the men and women, and the religious activity time is longer with women. The time for newspapers and magazines is shorter while watching television, occupying almost half of the free time, is quite the same as Japanese elderly. The time for sports and outdoor leisure activity is almost the same, and walking and strolling occupies much time. The time for hobby and leisure activity is almost the same, but playing / gambling occupy much more in Korea. Neither Koreans nor Japanese spend very little time for social participation, volunteer work, study, and entertainment / amusement. Koreans spend less time than Japanese, though the difference is small. As for travel, traveling time related to socializing and other leisure activities occupies much in Korea. The longer traveling time in Korea is explained by the longer free time, especially longer socializing time with people other than family and relatives.

I believe I have been able to point out a few new aspects about the feature of daily life of elderly people in Korea and Japan by comparative analysis of the time use data.

Key Words: South Korea, elderly, daily life, time use, sociology